

分野別研究指導教員一覧【博士前期課程】

分 野	担当教員	研究指導概要
基礎看護	教授 菊池 麻由美 連絡先 03-3762-9286 mayumi.kikuchi@	看護実践に関する最新の研究動向を踏まえて研究課題を捉えなおし、看護実践や看護職者の経験、あるいは看護職者が培っている知や技を探求する。看護職者の経験を記述し、未だ十分に明らかになっていない看護の営みを言語化することにより看護学に貢献することを目指し、質的研究方法を用いた研究、論文作成の指導を行う。
	准教授 小坂 志保 連絡先 03-3762-9309 shiho.kosaka@	あらゆる健康レベルにある人々のセルフケアやセルフマネジメントについての研究の動向を踏まえ、それらに影響を与える要因の検討や介入方法、評価方法を探求する。個々の学生が創出した研究テーマに基づき、論理的・実践的に研究が遂行できるよう細やかな指導を行う。
臨床看護	教授 原 三紀子 連絡先 03-3762-9241 mikiko.hara@	さまざまな健康レベルにある患者・家族を対象とした研究の動向を把握し、臨床看護の質の向上に寄与する研究課題を探求する。導き出した研究テーマに基づき、一連の研究プロセスを踏めるように研究指導を行う。
	教授 湯浅 玲奈 連絡先 03-3762-9242 rnyuasa@	疾患の病態生理を理解するために、人体の正常構造やその機能を再認識し、臨床医学、臨床看護に役立つ知識を身につけることを目標とする。また、他の疾患と臨床症状が似ているために適切な診断と治療にすぐに結びつきづらい内分泌疾患や、加齢により生じる多様な変化などを最近のトピックスも幅広く取り入れて指導を行う。
	准教授 原沢 のぞみ 連絡先 03-3762-9232 nozomi.harasawa@	慢性期～急性期といったあらゆる健康段階にある患者・家族を対象に、臨床看護におけるEvidence-based practiceにむけ、的確な臨床疑問を立て、研究テーマの設定、計画、実施において、指導を行う。研究計画を遂行するうえで、系統的な文献レビューを必須とし、信頼性妥当性の評価および、倫理的配慮に基づいた研究により、看護実践の質の向上に向け探求するための指導を行う。

分野	担当教員	研究指導概要
<p>性・生殖看護</p> <p>(助産師コース・臨床実践コースを含む)</p>	<p>教授 富岡 由美</p> <p>連絡先 03-3762-9293 yumi.tomioka@</p>	<p>妊娠期から産褥期の助産の課題と、その解決方法について考察する。助産師コースは、分娩を中心とした身体のメカニズムと母親学級・健康教育を通して助産師としての実践力を育成する。また、研究については2つのコースともに助産から得た研究疑問をもとに就職後の研究活動を見据えた指導を行う。研究疑問から研究目的の焦点化、文献レビューや倫理的配慮、調査方法など将来役に立つ基本に沿った細やかな指導を行う。</p>
<p>がん看護</p> <p>(CNSコースを含む)</p>	<p>教授 村上 好恵</p> <p>連絡先 03-3762-9236 ymura@</p>	<p>がんの診断期、治療期、回復期、再発期、終末期というあらゆる経過における患者とその家族を対象とした看護を探究する。主として、看護上の課題や現象の探究、援助方法の開発、介入効果の検証など、がん看護の向上に寄与することを目指した実践的研究指導を行う。</p>
<p>高齢者看護</p>	<p>教授 横井 郁子</p> <p>連絡先 03-3762-9227 yokoiyk@</p>	<p>さまざまな健康状態にある高齢者の看護について、多角的視点をもって探究する。高齢者とその家族を取り巻く環境に重点を置き、高齢者看護の質の向上に寄与する研究指導を行う。</p> <p>(看護管理) 人的環境(医療職に限らず福祉職、一般住民も含むケア提供体制の現状と課題)、物的環境(施設基準の違いによる医療・ケアの質と課題)の管理について、看護の視点で探究する。</p>
	<p>准教授 藤野 秀美</p> <p>連絡先 03-3762-9243 morisumi@</p>	<p>看護師および介護職者の個人特性と精神的健康、ケアを受ける対象者との関係への影響、高齢患者の療養態度や支援受容の態度との関連について探求する。ケア提供者と対象者との健康的な関係構築や、対象者の自立を尊重するケアへ寄与する研究指導を行う。</p>
<p>小児看護</p> <p>(CNSコースを含む)</p>	<p>教授 荒木 暁子</p> <p>連絡先 03-3762-9359 akiko.araki@</p>	<p>子どもの健康と発達を支え、子どもが家族や社会の中で健康に育つことを支える、そのための援助方法やシステムに関することなど、幅広く探求する。それぞれの研究課題に沿って、小児看護の質改善や向上に寄与できるよう研究指導を行う。</p> <p>(看護管理) これからの時代に求められる看護管理の観点、現場の課題解決へ向けた管理者としてのあり様や活動について探求する。</p>

分 野	担当教員	研究指導概要
公衆衛生看護	教 授 岸 恵美子 連絡先 03-3762-9266 emiko.kishi@	地域・公衆衛生看護の対象である、あらゆる健康レベルの人々の健康課題、課題解決に向けた支援、地域ケアシステム構築やプログラム開発などに関して探究することを指導する。質的・量的研究手法を用いて、地域・公衆衛生看護の看護実践に寄与する研究指導を行う。
	准教授 望月 由紀子 連絡先 03-3762-9212 yukiko.mochizuki@	多様な人々の健康課題を解決し、地域の人々が健康で暮らせる社会の実現、また、産業保健分野における健康課題の解決し、企業の健康文化の創出と定着に貢献し得る看護実践、マネジメント、システム構築などに関して探求する。文献検討・量的研究・質的研究手法を用いて、テーマについて探求し、公衆衛生看護の発展に寄与する研究指導を行う。
国際保健	教 授 夏原 和美 連絡先 03-3762-9254 kazumi.natsuhara@	人間集団を対象とする健康に関わるトピックであればテーマ設定は広く受け入れる。保健学のほかにも人口学、人類生態学、文化人類学等の関連分野の知見と手法も取り入れながら、探究したいと思うテーマを研究目的として絞りこみ、その研究目的を達成できるようサポートする。
	教 授 坂本 なほ子 連絡先 03-3762-9229 naoko.sakamoto@	疫学を基本とした量的研究の方法論に基づいて指導を行う。また、良い研究計画を計画するために必要な文献検討やシステムティックレビューについても支援を行う。
	准教授 吉朝 加奈 連絡先 03-3762-9223 kana.yoshiasa@	国際関係学をベースに、世界の国々や地域の政治、経済、文化、社会を総合的に捉え、相互の関係を深く理解するための人文・社会科学系の研究手法を用いる。個々人が導き出した研究テーマに対して、論理的・実践的に研究が遂行できるよう指導を行う。

分 野	担当教員	研究指導概要
精神看護	教 授 伊藤 桂子 連絡先 03-3762-9256 keiko.itou@	<p>こころの健康を維持すること、こころの健康問題や病を持った人とその家が抱える課題を探求し、社会的資源を活用しながら、本来の生活のあり様やその人らしさを取り戻す支援に重点を置き、精神看護の質の向上に寄与する研究指導を行う。</p>
在宅看護	准教授 成澤 明 連絡先 03-3762-9952 akira.narusawa@	<p>地域で生活する療養者とその家族に対する地域・在宅看護実践に応用できるエビデンスを追求する。急速に変化する社会環境の中で、その人らしい生活の継続に貢献するための地域・在宅看護実践に寄与する研究指導を行う。</p>
感染制御	教 授 小林 寅喆 連絡先 03-3762-9247 kobatora@	<p>医療関連施設および市中で問題となる感染症について臨床微生物学を基礎とし、感染制御学の視点から研究を実施する。特に易感染宿主における感染対策や医療関連施設における耐性菌のアウトブレイク等の流行に対応した微生物学的検証など、主に量的解析による研究と論文作成を指導する。</p>
	准教授 勝瀬 明子 連絡先 03-3762-9378 akiki@	<p>One Healthの考え方に基づき、社会全体を視野に入れた感染症に関連する研究を実施する。研究対象は医療関連施設に限らず市中環境等を幅広く含め、微生物学的実験を手法とした抗菌薬耐性菌等を含む微生物の分布および伝播経路の検証など、感染制御を目的とした量的研究および論文作成を指導する。</p>

※@の後ろにmed.toho-u.ac.jpを付ける。